

TOP MESSAGE

障がい者スポーツ支援、次世代アスリートの育成、
地元のスポーツ振興など。
スポーツの社会的責任を意識し、
より健やかな社会の実現へ進んでまいります。

現在、企業における働き方が大きく見直される中で、私たちゴールドウインは、経済産業省より2017年度の「健康経営優良法人ホワイト500」として認定されました。上場企業3500社のうちから、わずか235社の中に選ばれたことを非常にうれしく思うとともに、これからも社員が健康で、仕事とスポーツに取り組みやすい環境を整えて、さまざまなことを積極的に変えていきたいと考えています。スポーツを通じて、健康で豊かな暮らしに貢献することを、ゴールドウインの社員の働き方でも実現してまいります。

さて、いよいよ3年後に迫った東京オリンピック・パラリンピックに向けまして、スポーツの社会的責任は、ますます重要なものになると考えます。2020年は、当社が創立70周年を迎える年。創業間もない頃にスポーツ専門に転身し、1964年に開催された前回の東京オリンピックの前年に、ゴールドウインという現在の社名になりました当社にとりまして、それはどこか運命的なものを感じます。2年後に開かれるラグビーワールドカップ2019も含め、世界から日本が注目を集めることになる中で、「SPORTS FIRST：スポーツ・ファースト」の想いを貫いた企業活動を通して、より健やかな社会を実現したい。人々が明るく元気に生きられる、安心で安全な日本を世界に見ていただきたい。そう考えております。

これからも、決して無くなることのない、私たちの原点である、ものづくりの企業としての本質と存在意義を大切に。自分たちで開発した商品をお客様に直接ご提案できる強みを大切に、社会的責任を果たしてまいります。

2017年7月

株式会社ゴールドウイン

代表取締役社長 西田明男



目次

トップメッセージ — 1

CSRに対する基本的な考え方 — 3

SOCIAL — 4

すべての人がスポーツを、等しく楽しめる社会の実現へ

自然を体感しながら親子で学ぶ「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」／親子で楽しむファミリークライミングイベント／
テニスで家族の絆を太くする「Family Ties Tennis」／ジュニアゴルファーを育成する「ゴールドウインジュニアチャレンジゴルフ大会」／
障がい者スポーツの理解促進のために「チェアスキー体験会」／
デフ選手のコミュニケーションを支援する「DEAF SKI ATHLETE WRITING NOTEBOOK」／
鈴木孝幸が小学生向けに障がい者スポーツについて講演／社内パブリックビューイングで鈴木孝幸の健闘を応援／
「支える人」を支援する～ウィルチェアラグビー競技大会で会場設営／一般財団法人ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団を設立／
「寛仁親王記念杯第18回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント」を特別後援／「富山マラソン2016」にゴールドパートナーとして特別協賛

FAIR — 11

商品企画・開発からものづくり、お客様の手に届くまで心をこめて

「Science of Movement (動きやすさを科学する)」をテーマに開発した、美しいシルエットを表現するコレクション／
世界最大のスポーツ見本市ISPOにて「G-Titan Jacket」が ISPO AWARD 2017を受賞／
「宇宙下着」の技術を応用した消臭アンダーウェア「MXP」による「ユニフォーム・プロジェクト」／
アスレチックスポーツの新業態、「NEUTRALWORKS. BY GOLDWIN」でサービス向上の取り組み／
複合型ウィメンズ・スポーツライフスタイルショップDANSKIN beautiful thingsを開店

CLEAN — 15

スポーツをこよなく愛するからこそ、環境にやさしく

持続可能な社会を実現するために／ISO14001認証取得／
2016年の環境活動報告(循環型社会に向けての取組・低炭素社会に向けて・自然との共生について)／
すべてのブランドの衣類を回収する循環型リサイクルシステム「GREENCYCLE」／「アースディアクション」を各店舗にて実施／
自然環境を意識する海岸での「ビーチクリーン活動」／Spiber株式会社との事業提携による、新世代高機能素材を用いた新製品開発

PASSION — 20

仲間とともに、情熱的に働くことのできる企業であること

健康経営優良法人「ホワイト500」に認定／接客と販売スキルを競うセールスコンベンションを開催／
「海外研修制度」で将来の夢をサポート／東京地区「うんどうかい」／2016富山スポーツ親善大会／
「SPORTS FIRST」を実践する従業員を「SPORTS FIRST AWARDS」で表彰

OPEN — 25

社会に開かれた経営とコーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス体制／内部統制システム～業務の適正を確保するための体制／コンプライアンス体制について

会社情報 — 27

経営情報 — 28

CSRに対する基本的な考え方

「スポーツ・ファースト」というタグラインのもと、開かれた経営、顧客満足、従業員育成、地域や社会への貢献、地球環境や生態系への配慮という5つの柱で、スポーツを通じた豊かな暮らしの実現と、社会の発展に寄与することをめざします。

● 企業理念

スポーツから、もっと健やかで楽しい明日へ。
1950年の創業以来、「スポーツのある豊かな暮らしを築き上げること」を当社は企業理念としてきました。その企業理念のもと、ゴールドウインはスポーツを通じてクオリティ・オブ・ライフの向上に寄与してまいります。

● CSR基本方針

上場企業に求められる高いレベルでの経営の透明化、お客さまの手に商品が届くまで、製造から販売に至るあらゆる段階で心を配ること、従業員がのびのびと健康に働きつづけられる職場環境づくり、そして地域・社会へのスポーツを通じた貢献や、地球環境・生態系への配慮。これらすべてを当社は「スポーツ」への敬意と情熱を通じて実現してまいります。

● CSR推進体制

当社の役員および関係会社代表が出席する「CSR推進委員会」を設置。CSR推進委員会で決定された基本的な活動方針は、グループ従業員全員に徹底され、各部門および個人レベルで具体的な活動を推進します。



CSRレポートについて

本レポートは、ゴールドウイングループについてより多くを知っていただくため、毎年発行しているものです。ゴールドウインのタグラインである「SPORTS FIRST」を中心に、CSRの5つの柱として定めた「OPEN」「FAIR」「CLEAN」「PASSION」「SOCIAL」に沿ってページを構成しています。当社は「身の丈にあった、継続的で、全員参加によるCSR推進活動」をモットーに、これからも積極的にCSR推進活動に取り組んでまいります。本レポートならびに当社のCSR推進活動に対するご意見、ご感想、ご要望などをお待ちしております。

※環境面への配慮から本レポートは印刷せず、当社ホームページのみでの公開としております。

報告範囲

対象期間：2016年4月から2017年3月の活動を中心に、一部直近の活動を含みます。

対象範囲：ゴールドウイングループ全18社を対象としております。

発行：2017年7月

発行責任者：管理本部総務部

主要コミュニケーション媒体

ゴールドウイングループホームページ：<http://www.goldwin.co.jp/>

CSRレポート：<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/csr>

会社情報：<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/about>

SOCIAL

すべての人がスポーツを、
等しく楽しめる社会の実現へ

スポーツを通じて、誰もが健やかに暮らせる社会の実現を目指して。トップアスリートも、ハンディキャップを負った人も、次世代を担う子どもたちも、誰もが等しく自分の体を動かす喜びを味わえる「共生社会」の実現に向け、私たちは大きな役割を果たしてまいります。



2016/10/8

生きる力を育むキッズプログラム「アウトドアエデュケーションデイ2016」を開催。キャンプやアウトドアシーンで役立つコツを、親子で一緒に楽しみながら学んだ。

次世代育成

次世代に活躍するアスリートを育成するため、当社は子どもたちを対象にさまざまなスポーツ支援活動を行っています。また子どもだけでなく家族でスポーツの楽しみを知ってもらうため、親子参加型のイベントにも積極的に取り組んでいます。

自然を体感しながら親子で学ぶ「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」

未来の地球を受け継ぐ子どもたちとその親御さんに、自然に寄り添い、生きる力を育んでもらいたいという思いから、親子が自然のなかで楽しみながら学ぶ「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」を2016年度も継続して開催しました。

5月14～15日には山梨県・PICA富士西湖にて、小学生とその親御さんを対象にしたアウトドア・アクティビティ・イベント「mammoth powwow music camp 2016」を開催。9回目となる今年は焚き火をテーマに、幼児から体感できるワークショップを実施しました。8月20～21日には、長野県・斑尾山頂から湧井にかけて伸びる日本を代表するコースをつかい、親子が2日間にわたり本格的なロングトレイルを体験する恒例の催し、「親子信越ロングトレイル」を開催しました。

10月8日には東京昭島のTHE NORTH FACE昭島アウトドアヴィレッジ店にて、子育てを頑張るお母さん達を応援するサイト「ウイメンズパーク」と共同で、生きる力を育むキッズプログラム「アウトドアエデュケーションデイ2016」を開催。キャンプやアウトドアシーンで役立つコツを、親子で一緒に楽しみながら学びました。

他にも下記活動など計15回実施致しました。

- ・ファミリートレイルランニング(神奈川県・飯山白山森林公園、4月29日)
- ・KIDS NATURE SCHOOL KIDS EXPLORE in 甲山森林公園(兵庫県・甲山森林公園、5月21日)
- ・KIDS TREKKING in 玄岳(静岡県・玄岳/氷ヶ池、6月25日)
- ・KIDS SEASIDE EXPLORE in 大蔵海岸公園(兵庫県、8月14日)
- ・ファミリーロゲイニング(大阪府・交野山周辺、9月10日)
- ・ファミリートレッキング(山梨県・石割山、10月22日)



親子で楽しむファミリークライミングイベント

「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL」の一環として、2016年11月5日に山梨県瑞牆山(みずがきやま)にて親子で楽しめるファミリークライミングイベントを開催しました。日本を代表するプロフリークライマーの平山ユージ氏を講師に迎え、クライミングのコツや自然の中で遊ぶことの素晴らしさを参加者のみなさんと分かち合いました。



テニスで家族の絆を太くする「Family Ties Tennis」

親子がテニス体験を通じてその絆を更に太くするイベント「Family Ties Tennis」を、東京の玉川高島屋屋上・芝生の広場にて2016年5月16日に開催しました。エレッセテニスクラブウィズウインザーラケットショップが主催するこのイベントは、6歳から8歳のテニス経験のないお子様が対象。メインインストラクターとして元プロテニス選手の瀬間友里加さんを迎え、フットワークやボール遊びを中心にレッスンを行いました。



ジュニアゴルファーを育成する「ゴールドウインジュニアチャレンジゴルフ大会」

ジュニアゴルファーの競技力向上と、プレイを通じてのルール・マナー・エチケット育成を目的に、ゴルフ倶楽部ゴールドウインでは「ゴールドウインジュニアチャレンジゴルフ大会」を毎年開催しています。7回目となった2016年は7月27日に開催され、平均年齢12.3歳のジュニアゴルファー29人が18ホールのプレイを行いました。



障がい者スポーツ支援

当社は健常者にも障がいのある人にも分けへだてなくスポーツを楽しむ機会が与えられるよう、「する人」「見る人」「支える人」の三者を等しく支え、誰もが健やかに暮らせる「共生社会」の実現に寄与することを活動指針に、障がい者スポーツへのサポートと、障がい者スポーツに対する社会の理解促進に向けた取り組みを積極的に進めております。

障がい者スポーツの理解促進のために「チェアスキー体験会」

新潟県の苗場スキー場で2017年3月17日に開催された、当社が特別協賛する「第18回ゴールドウィン ナスターレース ユースジャパンカップ」では、今回はじめてデフ(ろう者)選手が参加し、同じ舞台上で仲間と競い合いました。また前走では障がい者スキー(座位)の選手が滑走しました。当社はこの大会の併催イベントとして、実体験を通して障がい者スポーツへの理解を深める「チェアスキー体験会」を開催。この体験会にはナスターレースに参加した子どもたちや、当社の社員・家族が積極的に参加しました。



デフ選手のコミュニケーションを支援する 「DEAF SKI ATHLETE WRITING NOTEBOOK」

当社は障がい者スポーツ支援の一環として、「第18回ゴールドウイン ナスターレース ユース ジャパンカップ」のために「DEAF SKI ATHLETE WRITING NOTEBOOK」を作成し、参加選手ならびに大会運営スタッフに提供いたしました。絵を指差すだけで簡単に意思疎通ができるこのノートにより、同大会に今回初めて参加したデフ選手と運営スタッフとの間のコミュニケーションをスムーズに行うことができました。



鈴木孝幸が小学生向けに障がい者スポーツについて講演

当社社員の鈴木孝幸が留学先のイギリスより一時帰国し、東京都内の二つの小学校で4年生以上を対象に障がい者スポーツやパラリンピックについての講演を行いました。国分寺市立第三小学校では4年生と6年生(約240名)が、目黒区立中根小学校では4年生～6年生(約250名)が参加。どちらの小学校でも講演後、積極的に鈴木への質問の声が上がりました。「“リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック両方を見た人?”という質問に対して、多くの子ども達が手を挙げてくれたことがとても印象的でした。今回の講演で障がい者スポーツへの興味がさらに高まり、普段の生活の中での障がい者との関わり方についても学んでくれたのではないかと感じています」(鈴木)



SOCIAL

社内パブリックビューイングで鈴木孝幸の健闘を応援

2016年9月15日、リオデジャネイロパラリンピックに出場した当社社員の鈴木孝幸を応援するため、社内パブリックビューイングを実施しました。このパブリックビューイングには社員120名が参加し、声援を送りました。



「支える人」を支援する～ウィルチェアーラグビー競技大会で会場設営

当社は2017年5月22日、オフィシャルパートナーを務める日本障がい者スポーツ協会主催の「2017ジャパンパラ ウィルチェアーラグビー競技大会」の会場設営ボランティアに参加しました。同協会のオフィシャルパートナーを務めはじめて以来、このボランティア活動には3年続けて参加しており、今年も9名の新入社員を含む12名がアリーナフロア全体のシート敷きとスポーツコート組立を行いました。こうした支援活動を通して、当社社員自身の障がい者スポーツへの理解も深まっております。



地域社会への貢献

当社は創業地・富山に対する地元企業の責任として、富山を含めた地域でのスポーツ振興をはじめ、様々な社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。一昨年から新たに始まった「富山マラソン」でもゴールドパートナーとなり、大会運営に協力しています。新たに設立した一般財団法人ゴールドウイン西田東作スポーツ振興財団を通じ、こうした活動をさらに活発化させていきます。

一般財団法人ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団を設立

当社は2017年5月、当社社長の西田明男を理事長に、一般財団法人ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団を設立しました。本財団は、障がい者スポーツ支援、次世代アスリートの育成支援、創業地である富山のスポーツ振興の三つを活動の柱とし、当社がこれまで行ってきたスポーツを通じた社会貢献活動をより発展的に実施し、すべての人がスポーツを等しく楽しめる「共生社会の実現に寄与することを目的としています。

「寛仁親王記念杯第18回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント」を特別後援

2016年10月13日、富山県小矢部市のゴルフ倶楽部ゴールドウインにて開催された「寛仁親王記念杯 第18回北陸ウェルフェアゴルフトーナメント」を今回も特別後援し、当社社員も運営スタッフとして協力しました。本大会はゴルフを通じて障がい者福祉への正しい理解を深める活動の推進を目的としており、当社もその開催に毎年協力をしています。さらに、収益金の一部を地元北陸の福祉関係団体・施設などへ贈呈し、贈呈先では施設の改修や備品・設備の購入、運営資金などに活かされています。今年の大会には北陸を中心に120名が参加。コース内4か所のショートホールをウェルフェアホールとし、スコアにあわせて募金をいただきました。寄付金と大会の収益金は、今年はNPO法人「プラスワン」に寄贈されました。



「富山マラソン2016」に ゴールドパートナーとして特別協賛

当社創業の地、富山県で2016年10月30日に開催された「富山マラソン2016」にゴールドパートナーとして今年も特別協賛し、運営スタッフウェアの提供をはじめ、大会を盛り上げるために様々なサポートを行いました。当社社員約40名が給水所にて、参加選手に水およびスポーツドリンクを提供、さらに社員有志による私設エイドも設営し、ぶどう糖タブレットを配布し、ランナーにエールを送りました。



FAIR

商品企画・開発からものづくり、
お客様の手に届くまで心をこめて

当社は創業の原点である「ものづくり企業」として、企画・開発から製造・販売に励んでおります。トップアスリートから、日常生活のなかでスポーツを楽しまれる方まで、さまざまなお客様からの意見に率直に耳を傾け、現場の知恵を汲み上げ、取り組んでおります。また、社会の変化に即して、新たなスポーツマーケットの創造や、リゾート型から都市型の店舗など、新規業態開発にも力を入れております。



2017/1/24

サイエンス・オブ・ムーブメント「動きやすさを科学する」をテーマに、ゴールドウインテクニカルセンターで実験を重ね、人間工学に基づいた型紙を設計し、商品を開発したことを発表。

商品・ものづくり

新素材や製造技術において急速に技術革新が進むなか、当社は創業の原点である「ものづくり＝メーカーとしての本質」を大切に、お客さまが求めているものは何かを常に考えつづけることで、画期的かつ高品質の製品を提供してまいります。

「Science of Movement(動きやすさを科学する)」をテーマに開発した、美しいシルエットを表現するコレクション

当社はTHE NORTH FACE(ザ・ノース・フェイス)ブランドのコレクションとして、「Science of Movement(サイエンス・オブ・ムーブメント／動きやすさを科学する)」をテーマとするウェアのシリーズを発表しました。当社の研究開発部門であるゴールドウィンテクニカルセンターが、アウトドアで培ってきた人間工学に基づく型紙設計をもとに人体の動きに馴染み美しいシルエットを実現した、フィールドおよび都市や街で着用できるアイテムです。「Science of Movement」では、シンプルでありながらも着やすく動きやすいデザインにより、スポーツライフや日常が快適になる製品を今後も提供してまいります。



「ザ・ノース・フェイス サイエンスオブムーブメントロング スリーブテックシャツ」

テックシャツの開発にあたっては、デスクワークや前傾姿勢など、肘を曲げてもつっぱりにくく腕の動きに追従するよう、肩口から手首の内側に向けての縫製のラインを工夫しました。



「ザ・ノース・フェイス
サイエンスオブムーブメントクラウドパンツ」

レインパンツの開発にあたっては、立っている状態と足を曲げている状態の腰から膝にかけてをモーションキャプチャーで計測・数値化し、動きやすく美しいシルエットを生み出す、「DRIVELINE TECHNOLOGY(ドライブライン・テクノロジー)」というパターン(型紙)を完成しました。このパターンの採用により、すっきりとしたシルエットながらも膝を曲げてもすそが上がりやすく、長時間はいてもお尻がずり下がりにくいレインパンツが実現しました。



世界最大のスポーツ見本市ISPOにて
「G-Titan Jacket」が
ISPO AWARD 2017を受賞

当社のオリジナルブランド「GOLDWIN」のスキーウェアG-Titan Jacket(G-タイタンジャケット)が、欧州最大のスポーツ用品国際総合見本市「ISPO MUNICH 2017」において、ISPO AWARD 2017を受賞しました。この賞は商品のコンセプト、デザイン、技術、環境への配慮などの項目の厳正な審査のもと、優れた商品に贈られるものです。G-Titan Jacketは寒冷地でのスキー時に、滑走中だけでなく滑走後の快適性を追求した高性能高品質ジャケットで、耐水性と透湿性を併せ持つGORE-TEX®を採用しつつも、素材の柔らかさによる上質な着心地を実現しました。



「宇宙下着」の技術を応用した消臭アンダーウェア「MXP」による「ユニフォーム・プロジェクト」

JAXAと共同開発した消臭素材「マキシフレッシュプラス」を用いて吸汗速乾による快適な着心地のアンダーウェアを提供している当社の「MXP(エムエックスピー)」ブランドは、エムケイ株式会社(京都市南区)様のMKハイヤーとの取り組みを皮切りに、「ユニフォーム・プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、ニオイに敏感な現代社会において質の高いおもてなしを提供されるサービス業の方に、着るだけで汗のにおいを消臭してくれるウェアを着用していただくものです。働く人が体臭や汗臭を気にせず仕事に集中できるため、生産性・パフォーマンスアップにもつながります。



店舗・新業態

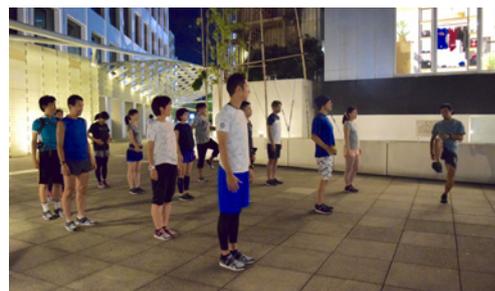
当社は変化し続けるお客様のニーズに即した、新たな業態の開発に取り組んでおります。店舗を、製品の提供の場としてのみならず、お客様との大切なコミュニケーションの場として。イベントやワークショップ等、各店舗にて多様なサービスの提供も行っております。

アスレチックスポーツの新業態、 「NEUTRALWORKS. BY GOLDWIN」でサービス向上の取り組み

当社アスレチックスポーツのフラッグシップショップとして、新国立競技場をはじめスポーツ施設が集中する東京・外苑前に2016年に新業態としてオープンした「NEUTRALWORKS. BY GOLDWIN (ニュートラルワークス. バイ ゴールドウイン)」では、お客さまのニーズに対応した各種イベントの開催やサービス向上に取り組んでおります。

Run Workshop

当社ブランドの「C3fit(シースリーフィット)」では、「全ての向上心を持つランナーを一つ上のパフォーマンスへ」をコンセプトに、毎回一流の講師を招いた「Run Workshop」を開講しています。「Run Workshop」は座学も交えて行う新しいスタイルのワークショップで、初回の2017年1月11日は成瀬拓也氏を講師に招き、『勝利するメンタルの鍛え方』をテーマに、スタディ(座学)、アクティビティ(実技)を交えた、計2時間のワークショップを実施しました。



東京マラソンEXPO 2017への出展

2017年2月23日～25日に東京ビッグサイトで開催された東京マラソンEXPO 2017に出展し、ランナーに役立つオリジナルアイテムの販売や、コンディショニングを整えるサービスを提供しました。さらに、店舗に併設するパーソナルストレッチルーム「REBOOT stretch(リブートストレッチ)」のブース限定メニューを無料で体験できるスタジオも設置。下半身に特化したストレッチプログラムで、ランナーのコンディショニングを整えました。



複合型ウィメンズ・スポーツライフスタイルショップDANSKIN beautiful thingsを開店

2017年4月17日、名古屋駅の新名所「タカシマヤ ゲートタワーモール」内に、「DANSKIN beautiful things(ダンスキン ビューティフル シングス)」をオープンしました。この店舗はアクティブウェアブランドの「DANSKIN」を中心に、「THE NORTH FACE」や「C3fit」、「MXP」などのブランドをミックスしたDANSKIN初の複合型ウィメンズ・スポーツライフスタイルショップです。日常生活のなかにスポーツの機能性や心地よさを取り入れたいというニーズに対応し、ヨガやワークアウトなどのアクティブウェアからライフスタイルアイテムまで、幅広い製品を提供します。スポーツを通じた美しさを求める女性たちのライフスタイルを多方面からサポートしてまいります。



CLEAN

スポーツをこよなく愛するからこそ、
環境にやさしく

美しい自然は、スポーツを行う私たちのフィールドであり、地球環境の保護に貢献し、自然との調和をはかりつつ企業活動を行うことは、すべての企業に課せられた責任です。当社は「地域社会と共存できる企業を目指す」ことを環境方針のなかで定め、持続的かつ積極的に、自然環境の保護に取り組んでいます。私たちは、人々がスポーツを楽しめる豊かな自然を次世代に確かに受け渡すことを誓います。



2017/4/22-23

アースデイに際して、各店舗にて清掃活動などのアクションを実施。一部店舗では、バイオマス発電などの自然エネルギーにより発電された「GREEN電力」を店舗運営時の電力として使用した。

ゴールドウイングループでは「環境基本理念」と「環境方針」を定め、持続可能な社会実現のための行動計画を作成し、環境パフォーマンスの持続的な改善に取り組んでいます。

持続可能な社会を実現するために

環境基本理念

私達には、自然と共存し調和ある繁栄を実現する崇高な使命が与えられています。ゴールドウイングループは、スポーツウエアをはじめ各種機能ウエアの企画、製造、販売を通じて環境負荷の低減を目指すとともに、健康総合企業として地球環境にやさしい商品の提供により環境への有益な影響を増進するなど、地球環境保護への姿勢を以下の環境方針に定めます。

環境方針

1. 事業活動または保有する設備が適用を受ける環境に関する法律、規則およびその他要求事項を遵守するとともに、可能な限り自主基準を設定し、環境の汚染予防と保全に努めます。
2. 事業活動が環境に与える有害な影響を認識し、全社員参加によりその影響を低減し、緑の地球を守ります。
3. 環境影響を改善するための目的・目標の設定、及び見直しを実施し、継続的な改善活動を実施します。
4. エネルギーおよび資源の使用量・排出量を十分に認識し、限りある地球資源の有効利用、産業廃棄物の削減を実施します。
5. 持てる経営資源を結集して独自の技術を開発し、人の健康と環境にやさしい商品の開発を推進いたします。
6. 自然と生き物が健康体でありつづけるために、自然環境に調和し、地域社会と共存できる企業でありつづけます。

ISO14001認証取得

ゴールドウイングループは富山地区にて、スポーツアパレル業界で初めて1999年11月にISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得しました。環境保全活動・環境配慮商品の開発と省資源による事業効率向上とを両立させるため、2006年2月にはゴールドウイン全事業所と染色センターがISO14001の認証を取得。さらに2008年7月にはゴールドウインロジテムが、2011年8月にはカンタベリーオブニュージーランドジャパンが、2013年9月にはブラックアンドホワイトスポーツウエアが、同様にISO14001の認証を取得しています。当社の経営方針のひとつである「きれいな経営」を実践し、雇用・経済活動にくわえ、環境に配慮した商品・サービスの提供を通じて社会に貢献してまいります。



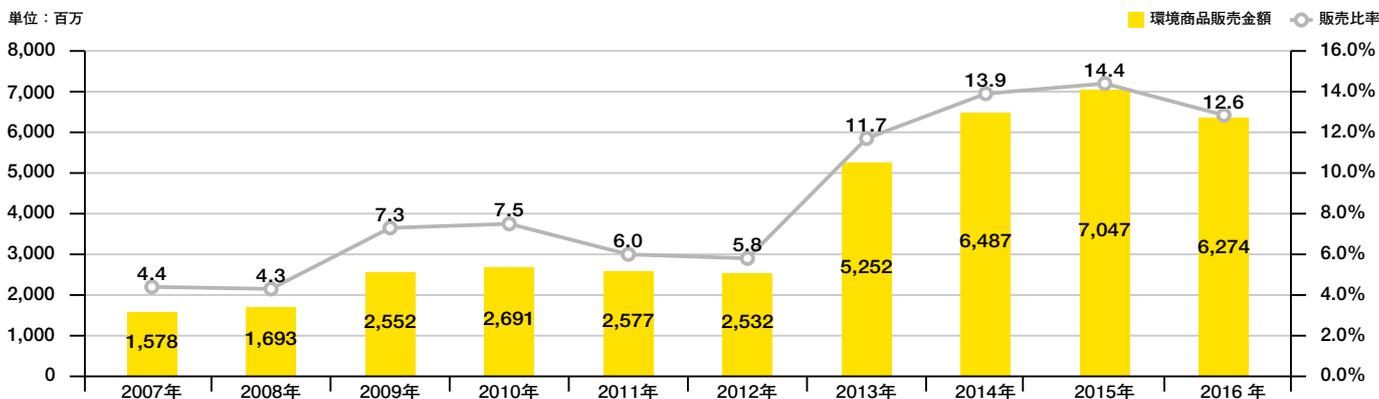
2016年の環境活動報告

①循環型社会に向けての取組

人の健康と環境にやさしい商品の開発・販売

当社は環境方針として「人の健康と環境にやさしい商品の開発・販売」を掲げております。この目的を達成するため、2016年は管理指標として「環境にやさしい商品の販売比率」を15%以上とすることを目指しましたが、残念ながら販売実績は12.6%にとどまり、目標値には届きませんでした。また販売金額でも前年比89%と減少し、環境配慮素材を使用した製品の売上も減少しました。この結果を受け止め、環境配慮型商品の開発・販売、製品回収への取り組み、店頭での回収BOXの設置、グリーンダウンリサイクルプロジェクト、アイコ社との協働による製品回収リサイクルなどを、さらに推進してまいります。

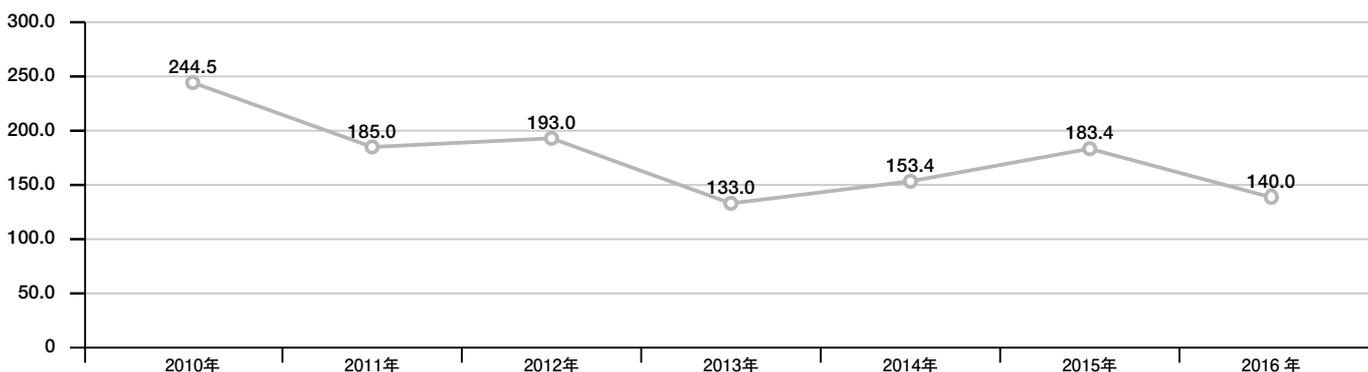
環境商品販売実績推移



産業廃棄物の削減

当社は環境方針として、製品・原材料における廃棄処分量の低減を掲げ、その発生抑制と製品の再利用を進めています。2016年の管理指標は廃棄物排出量を140t以内としましたが、結果は前年比23%減の140tとなり目標を達成できました。また製品及び原材料の廃棄処分についても前年比24%と大幅に削減できました。今後も廃棄物発生予防へ向けた活動の推進、発注流動管理の徹底、余剰資材の有効活用の推進、製品不良・リコール低減活動の推進、加工ロスの徹底排除、廃棄物の分別、細分化による再利用の推進、5S活動の推進などを通して、産業廃棄物の削減にこれまで以上に努めてまいります。

産業廃棄物(廃プラ)排出量推移(t)



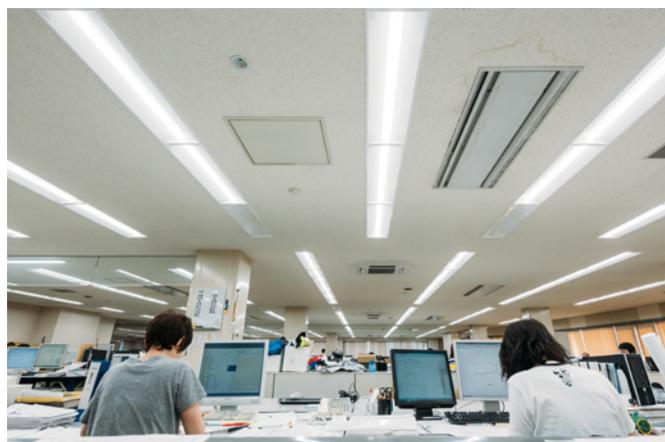
限りある地球資源の有効活用

当社は環境方針のなかで「限りある地球資源の有効活用」を掲げており、省資源活動の推進、原材料使用料の削減をすすめています。2016年度は、原材料ロスの低減活動の推進、クレーム・リペア情報からのフィードバックによる設計改善、設備管理・工程管理の徹底、物流梱包資材の削減活動の推進、仕事の仕組み・仕方の見直しにより管理・効率のアップ(業務改善活動)の推進、使用後の製品回収活動再利用システム・製品回収量の向上(アイコジャパンとの協働)に取り組み、昨年1年間で1.6tの製品を回収しました。

②低炭素社会に向けて

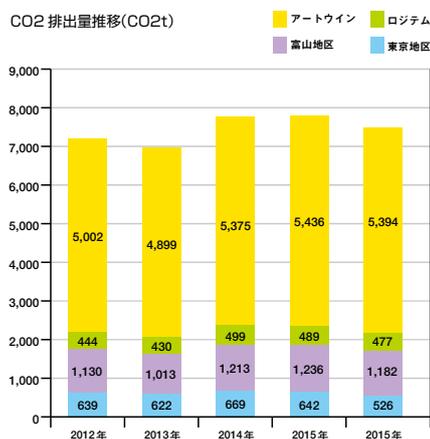
環境の汚染予防と保全活動

当社は環境方針のなかで「環境の汚染予防と保全活動」を掲げており、CO2排出量の削減に継続的に取り組んでいます。2016年は管理指標としてCO2排出量7,657t以内を設定、富山地区での照明LED化による電力消費削減の効果もあり実績は7,579tと目標を達成しました。引き続き省電力活動の推進、業務改善や作業の効率化をはかり時間外勤務の削減による効率的活用、生産設備の省エネ設備導入・メンテナンスと効率稼働、輸送ルートの見直しや積載効率の改善活動の推進、アイドリングストップなどの省エネ運転の推進など、低炭素社会のための取り組みを行っています。

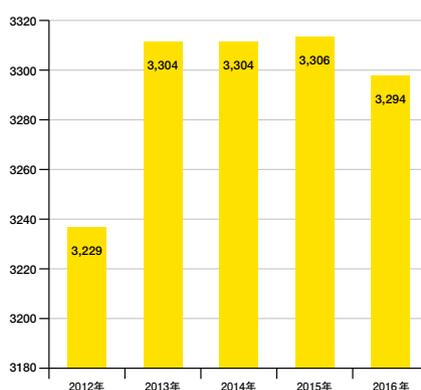


テクニカルセンター照明LED化

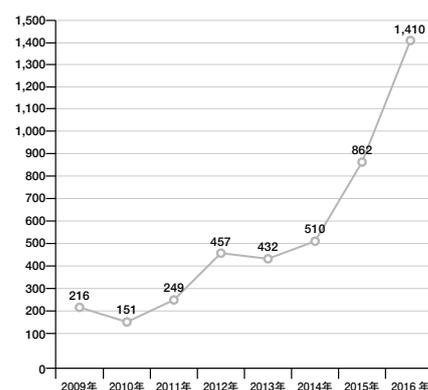
CO2 排出量推移(CO2t)



原油換算エネルギー使用量(kl/10gi)



業務改善件数推移(件)



③自然との共生について

地域社会と共存できる企業

当社は環境方針のなかで、「地域社会と共存できる企業を目指す」としています。この目標を達成するため、子どもたちが自然と接し、体験し、学ぶことを目的とした「THE NORTH FACE KIDS NATURE SCHOOL(ザ・ノース・フェイス キッズ・ネイチャー・スクール/KNS)」を2014年より開催しています。このほかにも、自然とのふれあいの機会を増やすため、廃棄されるヨットの帆でトートバッグを作成するワークショップや自然環境の保全に対する啓発活動などのイベントを16回開催したほか、全国で13回にわたり地域内清掃を実施しました。

CLEAN

すべてのブランドの衣類を回収する 循環型リサイクルシステム 「GREENCYCLE」

当社は株式会社アイコレクトジャパンとのパートナーシップにより、どのブランドの服でもすべての衣類を回収する「GREENCYCLE」の取り組みを2015年5月から開始しました。2017年3月末現在、合計51店舗での回収を受け付けており、この活動の開始から約2年間で約15tの二酸化炭素の削減を実現しました。



「アースデイアクション」を各店舗にて実施

当社は今年もアースデイに際し、各店舗にて清掃活動などのアースデイアクションを実施。「GREEN IS GOOD」のウェブサイトにてその活動報告を行いました。一部店舗では、2017年4月22日、23日の2日間にわたり、バイオマス発電などの自然エネルギーにより発電された「GREEN電力」を店舗運営時の電力として使用。またアースデイに合わせ、いずれの店頭でも「GREENCYCLE クーポン2倍キャンペーン」を開催いたしました。



自然環境を意識する 海岸での「ビーチクリーン活動」

当社は環境保全活動への意識を高めることを目的として、毎年水見市松田江海岸でビーチクリーン(清掃)活動を継続して行っております。2006年に開始してから11回目を迎える今年度は2016年7月9日に開催。社員と一般参加者を含めて105名が、砂浜に打ち上げられたゴミをていねいに拾い集め、清掃を行いました。



Spiber株式会社との事業提携による、 新世代高機能素材を用いた新製品開発

当社はバイオ素材開発の国家プロジェクトにも参加しているSpiber株式会社と、スポーツアパレル分野における事業提携契約を締結し、新世代高機能素材を用いた新製品「MOON PARKA」を開発。現在、さらなる品質安定に取り組んでいます。また当社では石油などの枯渇資源に依存せず、強靱でありながら生体適合性に優れ、生分解性を持った構造タンパク質素材を開発することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



PASSION

仲間とともに、情熱的に
働くことのできる
企業であること

スポーツも仕事も、ベストな結果を出すには、心身共に健やかであることが大切です。「働き方改革」が求められるなか、当社は社員のワークライフバランス改善にいち早く取り組んでまいりました。心身の健康や安心安全の確保はもちろん、海外研修制度を通じて将来のキャリア形成もサポートしております。多彩なクラブ活動や「SPORTS FIRST AWARDS」の表彰などを通じて、社員同士のコミュニケーションもさかんに行われています。



2016/10/15

よみうりランド・聖地公園にて東京地区の「うんどうかい」が開催され、社員301名、家族69名の合計370名が参加。参加者は6チームに分かれ、普段関わりが少ない部署の人たちとも交流しつつ競技に参加した。

「働き方改革」が求められるなか、当社は社員のワークライフバランス改善にいち早く取り組んでまいりました。心身の健康や安心安全の確保はもちろん、海外研修制度を通じて将来のキャリア形成もサポートしております。

健康経営優良法人「ホワイト500」に認定

当社は2017年2月21日、経済産業省より2017年度の「健康経営優良法人」(ホワイト500)に認定されました。健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、とくに優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。

2017年度の認定法人として、上場企業3500社の中から大規模法人部門(ホワイト500)235法人が認定され、当社がその中の1社に入りました。

当社は従業員の心と身体の健康と安全確保を経営の重要課題と位置づけ、定期健康診断の全従業員受診、敷地内禁煙やストレスチェックの実施、ワークライフバランスの改善のための残業時間削減や有給休暇の取得、健康増進やメンタルヘルス研修、子育て支援のための育児休暇取得推進など、従業員が心身ともに安心・安全に働ける環境づくりに努めてまいりました。さらに今年度からは、パソコンの持ち出し禁止や午後8時の消灯など、更なる改善にトライし始めています。形式面のみならず、働き方の仕組みや、従業員自身の意識改善など、根本的な見直しを行っております。

タグラインであるスポーツファーストの行動規範のもと、社員が健康で、仕事にスポーツに精励できるよう、会社として全力で支援してまいります。



2017

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

PASSION

接客と販売スキルを競うセールスコンベンションを開催

当社は店舗でのお客さまとの良好なコミュニケーションと、接客・販売のスキル向上をはかるため、「セールスコンベンション(接客ロールプレイングコンテスト)」を行っています。2016年度は11月16日に開催され、全国の店舗を対象とした予選を勝ち抜いた16名が「好感度」「あいさつ・お声掛け」「言葉遣い」「商品情報・専門情報」「会話力」「ニーズチェック」「提案力・説得力」「クロージング」「お見送り」の9つのポイントで、来店からクロージングまでの接客技術を競いました。社長、副社長、各店舗の代表者などの審査により、グランプリ1名、準グランプリ1名、審査員特別賞2名、おもてなし賞1名、敢闘賞が授与されました。



PASSION

「海外研修制度」で 将来の夢をサポート

当社は正社員として3年以上の勤務実績がある社員を対象に、海外研修制度を備えています。公募に応じた希望者から面接で最大2名が選ばれ、アメリカでの1年間の研修と現地企業での2カ月のインターンシップに派遣されます。研修希望者は帰国後の自分をイメージして、どこで何をしたいかを自分で決めることができます。本年度に海外研修に派遣された山田達郎は自転車好きのため、トライアスロンのクラブがある大学への留学を希望して認められました。



東京地区「うんどうかい」

東京地区の「うんどうかい」が、2016年10月15日によみうりランド・聖地公園にて開催されました。今年の参加者は社員301名、家族69名(朝の受付時点)の合計370名。普段関わりが少ない部署の人たちと交流が持てるよう、今年はチーム分けを従来のフロアごとから部署単位の6チームに変更。新競技も目白押しで、大いに盛り上がりました。



2016富山スポーツ親善大会

2016年10月22日、東京、大阪、富山の各地区から野球・サッカー・テニス・ゴルフ・マウンテンクラブ・フィッシング・ウォーキング・モーターサイクル・バイクなどのクラブのメンバーが富山に集い、親睦を深めることと腕試しを目的とするスポーツ親善大会が開催されました。今回の大会には元プロテニスプレイヤーの瀬間友里加さんも参加し、特別テニスレッスンも行われました。



PASSION

「SPORTS FIRST」を実践する従業員を「SPORTS FIRST AWARDS」で表彰

当社は毎年、SPORTS FIRSTを実践している従業員に対して「SPORTS FIRST AWARDS」の表彰を行っています。本年度は一般公開サイト「SPORTS FIRST MAG」で紹介してきた40名の社員を対象に、実践しているスポーツアクティビティや、その経験を製品開発やサービスに繋げる姿勢を評価して投票を行いました。その結果、鈴木孝幸(ゴールド)、本武史(シルバー)、鵜野貴行(ブロンズ)を選出。敢闘賞には杉井葉月、後藤太志、フィルユン・ピーター・ジョンの3名が選ばれました。

SPORTS FIRST MAG

スポーツを一番に考えるウェブマガジン

<http://sportsfirst.jp>



OPEN

社会に開かれた経営と コーポレート・ガバナンス

株主・投資家の皆さまとのかかわり

良識ある企業としての社会的責任を果たすため、当社では経営の公開性をよりいっそう高め、内部統制やコンプライアンスの遵守を通じ、公正で効率的な企業経営を実現してまいります。

コーポレート・ガバナンス体制

ゴールドウイングループは、公正かつ効率的な企業経営の実現と、激変する経営環境へのスピーディな対応を目的として、コーポレート・ガバナンスの充実を、経営の最優先課題としております。

取締役の職務責任を明確にするために、その任期を1年と定めています。取締役会は原則として月1回の頻度で開催されますが、必要に応じて不定期でも開催されます。

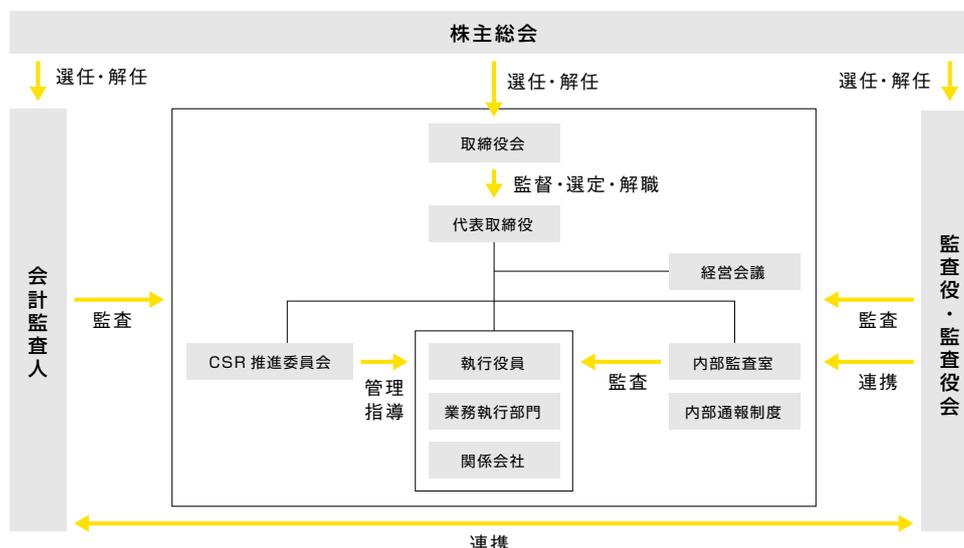
取締役会では法令で定められた事項および重要事項の決定を行うとともに、業務の執行状況を監督し、その進捗報告を実施いたします。なお、取締役10名のうち、2名は社外取締役であります。

取締役会が任命する執行役員は各々の領域で委譲された権限のもと、取締役会が決定する経営戦略にもとづき業務を執行します。取締役と常勤監査役、執行役員で構成される経営会議は、事業執行に関する重要事項などを審議決定するために、原則として月1回開催されます。

監査役会は4名で構成され、うち3名は社外監査役です。監査役は取締役会で意見を述べ、取締役の業務執行状況の監督を行うことによって、健全な経営と社会的信用の向上に努めます。

内部監査を担当する内部監査室は、他の業務執行組織から独立しています。その客観的な立場より、法令および社内規程の遵守状況の確認を行うとともに、業務と経営効率の改善／向上、内部統制システムの運用状況のチェックを行い、その結果を代表取締役、業務執行取締役および常勤監査役に報告します。

東京証券取引所においてコーポレートガバナンス・コードが制定され、上場規程として2015年6月1日より適用されております。当社はコーポレートガバナンス・コードの各原則を尊重し、これらを適切に実行してまいります。コーポレートガバナンス・コードへの対応状況等については、コーポレートガバナンス報告書で適時開示しております。



内部統制システム～業務の適正を確保するための体制

当社は経営方針、タグライン「SPORTS FIRST:スポーツ・ファースト」、および行動規範に示される経営戦略ミッションをゴールドウイングループ全役員によって具現化するために、適切な組織の構築、規程・ルールの制定、情報の伝達および業務執行のモニタリングを行い内部統制システムを整備・維持しております。また、内部統制システムは適宜見直し、改善を行い、適法かつ効率的に業務を執行する体制の確立を図っております。

内部統制システムの基本方針

<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/csr/open#section-C>

企業行動規範・従業員行動基準

<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/csr/open#section-E>

コンプライアンス体制について

当社およびグループ会社では、内部通報制度の運用や、社外取締役・社外監査役が取締役会および監査役会において独立かつ客観的な立場から意見を述べることで、職務執行の適法性・妥当性を確保しコンプライアンス体制を構築しております。また全従業員を対象とする「コンプライアンス研修」を毎年実施（2016年度の実施回数は51回、履修率93.4%）しており、かつ各種研修の際にも法令や経営理念、行動規範等の周知徹底を行い、内部監査や内部統制評価を通じて、各拠点で業務手順やマニュアルの遵守状況について確認を行っております。全従業員に内部通報制度の仕組みや行動規範・行動基準等行動の指針となる携帯用の「コンプライアンスカード」を配布して常時携帯するよう指導しているほか、メールマガジン「コンプラマガジン」を定期的に発行し、従業員のコンプライアンス意識向上・啓蒙に努めました。

ゴールドウイングループ
コンプライアンスカード
(携帯用)

ゴールドウイン役職員は、
このカードを念頭に倫理的に行動します。

GOLDWIN

会社情報

- 株式会社ゴールドウィン
GOLDWIN INC.
- 東京本社
〒150-8517 東京都渋谷区松濤
2-20-6
TEL 03-3481-7201(代表)
- 本店
〒932-0112
富山県小矢部市清沢210
TEL 0766-61-4800(代表)
- 設立
昭和26年12月22日
- 資本金
7,079百万円
(2017年3月31日現在)
- 年商(連結ベース)
60,903百万円
- 年商(個別)
51,270百万円
- 従業員
1,512名(グループ2,251名)
- 事業所
本店、東京本社、大阪支店、札幌
営業所、名古屋営業所、福岡営業所
(2016年3月31日現在)
- 会社概要詳細
<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/about>
- ホームページ
<http://www.goldwin.co.jp/>
- 決算短信等IR情報
<http://www.goldwin.co.jp/corporate/info/ir>

経営指針

1.強い経営

経営資源の選択と集中を強め、キャッシュ・フロー経営の視点から、経営体質を強化し企業価値を高めます。

2.速い経営

顧客ニーズの変化に俊敏に対応、商品企画から調達・販売までのプロセスを短縮化し、その運用システムを構築します。

3.きれいな経営

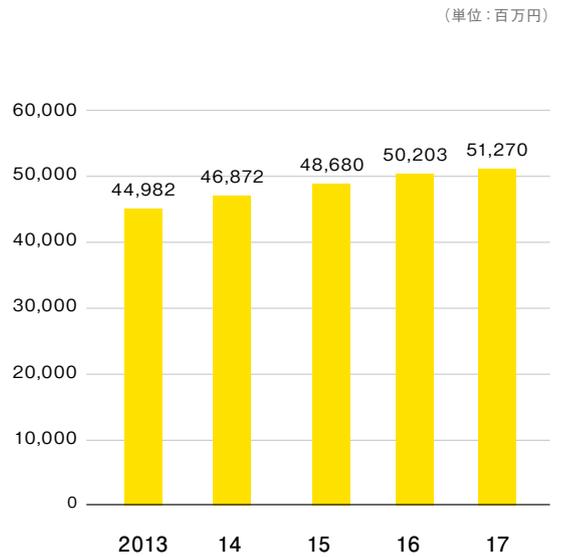
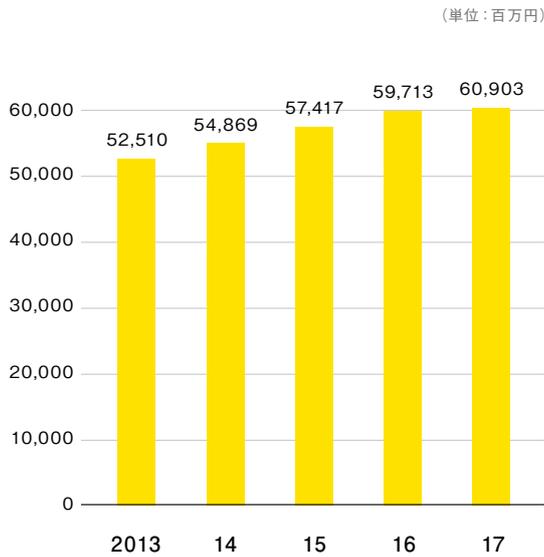
情報開示の透明性と環境への配慮を重視し、社会的に開かれた企業を目指します。

経営情報

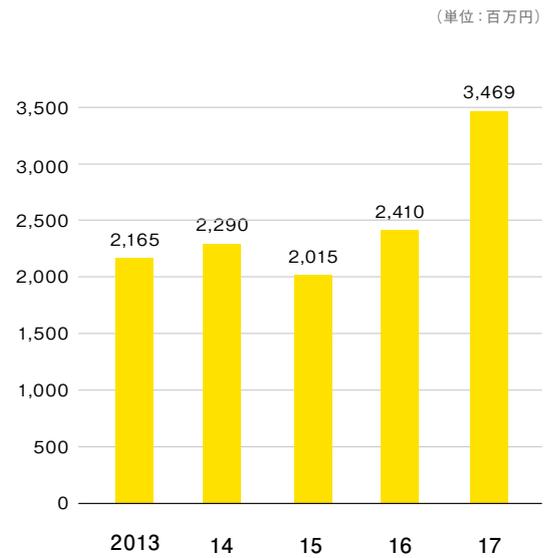
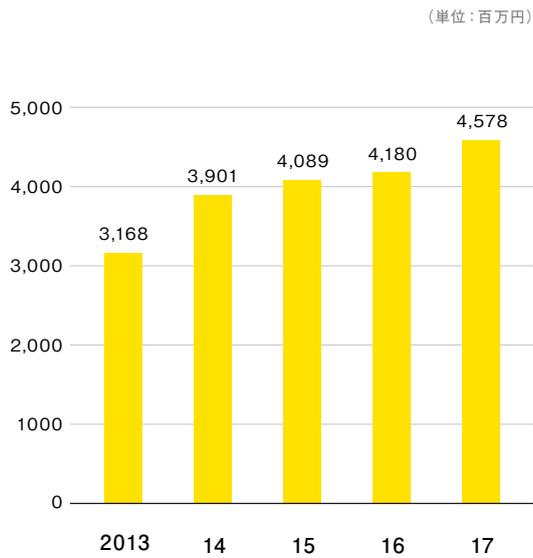
連結

個別

売上高



経常利益



当期純損益

